

養殖衛生管理体制整備事業

佐藤 晋一・前田 穰・沢目 司・松田 忍

目 的

県内の養殖生産者等に対し、養殖衛生管理及び疾病対策に関する技術・知識の普及、指導等を行い、健全で安全な養殖魚の生産を図る。

結 果

1. 総合推進対策

養殖衛生対策を具体的に推進する上で必要な事項について検討する全国養殖衛生管理推進会議(表1)、さらに、隣接する複数の道県等で構成される地域合同検討会(表2、3)に出席した。県内の内水面養殖業者等を対象とした青森県養殖衛生管理推進会議は開催されなかった。

表.1 全国養殖衛生管理推進会議

開催時期	開催場所	構成員(参加者)	議 題
10月25日	東京都	都道府県、農林水産省消費安全局、東北農政局、関東農政局、水産庁、内閣府沖縄総合事務所、(独)水産総合研究センター、(社)日本水産資源保護協会(101名)	1 水産防疫対策について 2 養殖衛生対策関連事業について 3 最近の魚病関連情報 4 その他
3月7日	東京都	都道府県、農林水産省消費安全局、東北農政局、関東農政局、水産庁、内閣府沖縄総合事務所、(独)水産総合研究センター養殖研究所、(社)日本水産資源保護協会(113名)	1 平成25年度の疾病発生状況等について 2 平成25年度の防疫対策の実施状況等について 3 平成25年度予算 4 その他

表.2 東北・北海道魚類防疫地域合同検討会

開催時期	開催場所	構成員(参加者)	議 題
11月14日 ～15日	宮城県 仙台市	北海道・東北6県、新潟県、(社)日本水産資源保護協会、(独)水産総合研究センター増養殖研究所(23名)	1 講演「 <i>Xenohaliotis californiensis</i> 感染症アワビに対するOTC投与試験について」 2 講演「KHV病診断における同居法の信頼性」 3 各道県における魚病発生状況について 4 話題提供・魚病研究及び症例報告 5 不明病等の発生事例紹介

表.3 北部日本海ブロック地域合同検討会

開催時期	開催場所	構成員(参加者)	議 題
11月7日	石川県 金沢市	青森県、秋田県(欠)、山形県(欠)、新潟県、石川県、農林水産省、(独)水産総合研究センター増養殖研究所(9名)	1 各県の海面養殖における魚病発生状況等について 2 講演「アワビのキセノハリオチス症に関する情報」 3 話題提供「定置網で漁獲された傷のついたフクラギについて」 4 情報交換・総合討論

2. 養殖衛生管理指導

水産用医薬品等の適正使用を図るため、現地及びアンケートで使用実態調査、現地指導を行った。また、養殖衛生管理技術等の向上を図るため、研修会等(表4)へ参加した。

表.4 養殖衛生管理技術者等育成研修

開催時期	開催場所	内 容
10月8日	三重県伊勢市	養殖衛生管理技術者養成特別コース研修
11月14日～15日	宮城県仙台市	魚類防疫士連絡協議会 東北ブロック研修会

3. 養殖場の調査・監視

水産用医薬品等の養殖資機材の使用状況調査(現地調査及びアンケート調査)を行った。

4. 疾病対策(平成 25 年 1 月から 12 月末までの集計)

(1) 疾病監視対策及び発生対策

養殖場等で現地指導(7 月 1 日～11 月 8 日:16 箇所、18 回)を行ったほか、検査依頼のあった病魚の診断(内水面関係:13 件、海面関係 4 件)を行った。

(2) 特定疾病対策及びアユ疾病対策

コイヘルペスウイルス(KHV)は、天然水域(河川)2 箇所のサンプルを PCR 法により検査したところ、馬淵川で 10 月に採捕された個体で陽性が確認された。

5 月に県内 1 施設で採取した放流前のアユ種苗検体計 60 尾を培養法・PCR 法により検査したが、冷水病及びエドワジエラ・イクタルリ感染症の原因菌は検出されなかった。

考 察

養殖衛生管理体制の整備のためには引き続き、魚類防疫に関する情報収集及び養殖業者等に対する情報提供を継続し、魚病の発生防止、被害軽減に努めていくことが必要である。